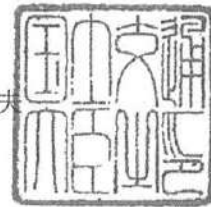


認定書

国住参建第 2059 号
令和 5 年 11 月 15 日

ケイミュー株式会社
代表取締役 社長 木村 均 様
吉野石膏株式会社
代表取締役 須藤 永作 様

国土交通大臣 齊藤 鉄夫



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 2 条第七号の二及び同法施行令第 107 条の 2 第一号から第三号まで（外壁（耐力壁）：各 45 分間）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号

QF045BE-1552-2

2. 認定をした構造方法等の名称

人造鉱物繊維断熱材充てん/イソシアヌレートフォーム裏張鋼板・構造用面材 [木質系ボード、セメント板、火山性ガラス質複層板又はせっこうボード] 表張/強化せっこうボード裏張/木製軸組造外壁

3. 認定をした構造方法等の内容

別添の通り

(注意) この認定書は、大切に保存しておいてください。

(別 添)

1. 構造名

人造鉱物繊維断熱材充てん/イソシアヌレートフォーム裏張鋼板・構造用面材 [木質系ボード、セメント板、火山性ガラス質複層板又はせっこうボード] 表張/強化せっこうボード裏張/木製軸組造外壁

2. 寸法および形状等

(寸法単位: mm)

項目	仕様
壁 高	構造計算等により構造安全性が確かめられた寸法とする
壁 厚	163以上

3. 材料構成

1) 主構成材料

(寸法単位: mm)

項目	仕様
[1] 荷重支持部材	柱 <ul style="list-style-type: none"> ・種類 (1)～(4)のうち、いずれか一仕様とする <ol style="list-style-type: none"> (1)平成12年建設省告示第1452号に規定する構造用製材 (JASおよびJAS材の加工品を含む) (2)平成13年国土交通省告示第1024号に規定する構造用集成材 (JASおよびJAS材の加工品を含む) (3)平成13年国土交通省告示第1024号に規定する構造用単板積層材 (JASおよびJAS材の加工品を含む) (4)平成12年建設省告示第1452号第五号に規定する無等級材または第六号に規定する木材 ・断面寸法 105×105の断面寸法以上 ・密度 0.38±0.08g/cm³以上
[2] 間柱	木 <ul style="list-style-type: none"> ・種類 (1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする <ol style="list-style-type: none"> (1)製材 (2)集成材 (3)単板積層材 ・断面寸法 33×105の断面寸法以上 ・間隔 500以下
[3] 受け材 (構造用面材または内装材に横目地がある場合のみ)	[1]受け材(構造用面材側) (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1)なし (2)木 <ul style="list-style-type: none"> ・種類 1)～3)のうち、いずれか一仕様とする <ol style="list-style-type: none"> 1)製材 2)集成材 3)単板積層材 ・断面寸法 25×25の断面寸法以上 ・取付位置 構造用面材横目地位置 [2]受け材(内装材側) 木 <ul style="list-style-type: none"> ・種類 1)～3)のうち、いずれか一仕様とする <ol style="list-style-type: none"> 1)製材 2)集成材 3)単板積層材 ・断面寸法 40×30の断面寸法以上 ・取付位置 内装材横目地位置
[4] 胴縁	木 <ul style="list-style-type: none"> ・種類 (1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする <ol style="list-style-type: none"> (1)製材 (2)集成材 (3)単板積層材 ・断面寸法 一般部 18×45の断面寸法以上 目地部 18×45の断面寸法以上を2列または18×90の断面寸法以上 ・間隔 500以下

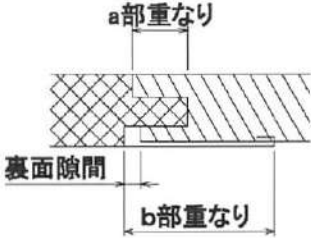
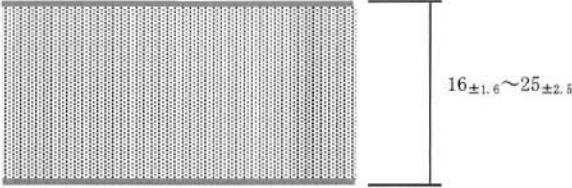
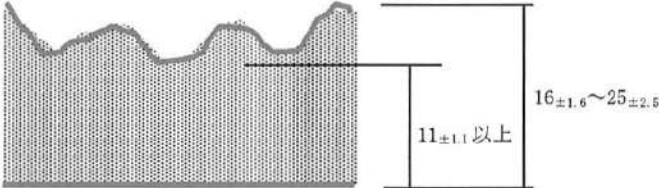
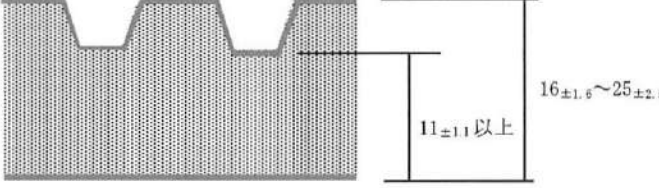
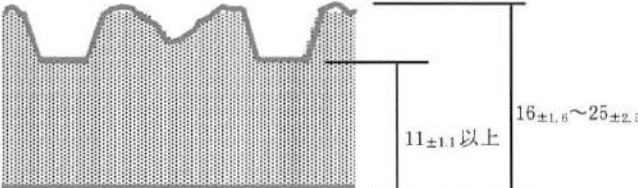
(寸法単位：mm)

項 目	仕 様												
5 外装材	イソシアヌレートフォーム裏張鋼板 [1]構成 [1]-1表面材 ・材質 (1)～(17)のうち、いずれか一仕様とする (1) 塗装/亜鉛めっき鋼板(国土交通大臣認定：NM-8697) (2) 溶融亜鉛めっき鋼板 ・規格 JIS G 3302 (3) 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・規格 JIS G 3312 (4) 溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 ・規格 JIS G 3317 (5) 塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 ・規格 JIS G 3318 (6) 溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 ・規格 JIS G 3321 (7) 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 ・規格 JIS G 3322 (8) ポリ塩化ビニル被覆金属板(鋼板に限る) ・規格 JIS K 6744 (9) 一般構造用圧延鋼材 ・規格 JIS G 3101 (10) 冷間圧延鋼板 ・規格 JIS G 3141 (11) 熱間圧延軟鋼板 ・規格 JIS G 3131 (12) 電気亜鉛めっき鋼板 ・規格 JIS G 3313 (13) 建築構造用溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板 (国土交通大臣指定建築材料：MSTL-0064、0065、0069、0070、0362、0965) (14) 溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板 ・規格 JIS G 3323 (15) 冷間圧延ステンレス鋼板の一部 ・規格 JIS G 4305 (16) 熱間圧延ステンレス鋼板の一部 ・規格 JIS G 4304 (17) 塗装ステンレス鋼板の一部 ・規格 JIS G 3320 ・(15)～(17)の鋼種：SUS430、SUS445J1、SUS445J2、SUS447J1 ・厚さ 0.27以上 [1]-2芯材 ・材質 イソシアヌレートフォーム ・組成(質量%) { <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>ホ^oリイソシアネート</td> <td>66±7</td> </tr> <tr> <td>ホ^oリエーテル系ホ^oリオール</td> <td>3±3</td> </tr> <tr> <td>ホ^oリエステル系ホ^oリオール</td> <td>23±4</td> </tr> <tr> <td>難燃剤(りん系)</td> <td>5±2</td> </tr> <tr> <td>三量化触媒、整泡剤</td> <td>3±3</td> </tr> <tr> <td>発泡剤(HFC系、HFO系)</td> <td>5±3～11±3(外割)</td> </tr> </table> ・イソシアネート指数 279 ・密度 37.5±4kg/m ³	ホ ^o リイソシアネート	66±7	ホ ^o リエーテル系ホ ^o リオール	3±3	ホ ^o リエステル系ホ ^o リオール	23±4	難燃剤(りん系)	5±2	三量化触媒、整泡剤	3±3	発泡剤(HFC系、HFO系)	5±3～11±3(外割)
ホ ^o リイソシアネート	66±7												
ホ ^o リエーテル系ホ ^o リオール	3±3												
ホ ^o リエステル系ホ ^o リオール	23±4												
難燃剤(りん系)	5±2												
三量化触媒、整泡剤	3±3												
発泡剤(HFC系、HFO系)	5±3～11±3(外割)												

(寸法単位：mm)

項目	仕様
[5]外装材 (つづき)	<p>[1]-3裏面材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 (1)～(7)のうち、いずれか一仕様とする <ol style="list-style-type: none"> (1)アルミニウム合金はく <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS H 4160 (2)はり合わせアルミニウムはく <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS Z 1520 (3)塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3322 (4)溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3321 (5)塗装溶融亜鉛合金めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3312 (6)溶融亜鉛合金めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3302 (7)塗装溶融-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3323 ・厚さ (1)0.02\pm0.002以上 <ol style="list-style-type: none"> (2)0.2\pm0.1 (3)～(7)0.15以上 <p>[1]-4水密材A</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする <ol style="list-style-type: none"> (1)なし (2)あり <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)～7)のうち、いずれか一仕様とする <ol style="list-style-type: none"> 1)合成ゴム系 2)軟質塩化ビニル系 3)ポリウレタン系 4)アクリルウレタン系 5)ポリサルファイド系 6)変成シリコーン系 7)ポリエチレン系 ・使用量 0.1g/m以上(有機質量) <p>[2]表裏面塗装</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする <ol style="list-style-type: none"> (1)なし (2)あり <ul style="list-style-type: none"> ・種類 1)～9)のうち、いずれか一仕様とする <ol style="list-style-type: none"> 1)フッ素系樹脂 2)アクリル系樹脂 3)アクリルウレタン系樹脂 4)ウレタン系樹脂 5)アクリルシリコン系樹脂 6)無機質系 7)エポキシ系樹脂 8)ポリエステル系樹脂 9)上記1)～8)の組合せ <p>[3]表裏面合計有機質量(芯材・水密材を除く部分) 60g/m²以下</p>

(寸法単位：mm)

項目	仕様
<p>⑤外装材 (つづき)</p>	<p>[4]形状</p> <p>[4]-1断面形状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ $16 \pm 1.6 \sim 25 \pm 2.5$ (最低厚さ 11 ± 1.1 以上) ・働き幅 400 ± 40 ・長さ 10000以下 ・断面欠損率 $11.8 \pm 1.18\%$ 以下 ※ ※裏面から16以下の部分の溝深さによる欠損率とする ・裏面隙間 4.6 ± 0.46 以下 ・a部重なり 10.4 ± 1.04 以上 ・b部重なり 29.5 ± 2.95 以上  <p>[4]-2表面形状</p> <p>(1)～(4)のうち、いずれか一仕様とする</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)平滑 (2)エンボス (3)溝付き (4)上記(1)～(3)の組合せ <p>(1)平滑の形状例</p>  <p>(2)エンボスの形状例</p>  <p>(3)溝付きの形状例</p>  <p>(4)上記(1)～(3)の組合せの形状例</p>  <p>[5]張り方 縦張</p>

(寸法単位：mm)

項目	仕様
⑥ 構造用面材	<p>(1)～(4)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)木質系ボード</p> <p>1)～6)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>1)普通合板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JAS ・厚さ 9以上 <p>2)構造用合板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JAS ・厚さ 9以上 <p>3)構造用パネル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JAS ・厚さ 9以上 <p>4)パーティクルボード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS A 5908 ・厚さ 9以上 <p>5)ミディアムデンシティファイバーボード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS A 5905 ・厚さ 9以上 ・密度 0.7g/cm³以上 <p>6)シージングボード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS A 5905 ・厚さ 12以上 ・密度 0.33～0.42g/cm³ <p>(2)セメント板</p> <p>1)～7)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>1)硬質木片セメント板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS A 5404 ・厚さ 12以上 <p>2)硬質木毛セメント板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS A 5404 ・厚さ 12以上 <p>3)フレキシブル板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS A 5430 ・厚さ 9以上 <p>4)パルプセメント板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS A 5414 ・厚さ 9以上 <p>5)けい酸カルシウム板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS A 5430 ・厚さ 9以上 <p>6)両面アクリル系樹脂塗装/パルプ・けい酸質混入セメント板 (国土交通大臣認定：QM-0457)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ 9以上 <p>7)スラグせっこう板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS A 5430 ・厚さ 9以上 <p>(3)火山性ガラス質複層板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS A 5440 ・厚さ 9以上

(寸法単位：mm)

項目	仕様
6 構造用面材 (つづき)	(4) せっこうボード 1)～6)のうち、いずれか一仕様とする 1) せっこうボード ・規格 JIS A 6901 ・厚さ 9.5以上 2) 強化せっこうボード ・規格 JIS A 6901 ・厚さ 12.5以上 3) 両面ボード用原紙張/せっこう板 (国土交通大臣認定：NM-4127) ・厚さ 9.5以上 4) ボード用原紙張/ガラス繊維混入せっこう板 (国土交通大臣認定：QM-0954-1) ・厚さ 9.5以上 5) ボード用原紙張/ガラス繊維混入せっこう板 (国土交通大臣認定：QM-0955-1) ・厚さ 9.5以上 6) ボード用原紙張/ガラス繊維混入せっこう板 (国土交通大臣認定：RM-0059) ・厚さ 9.5以上
7 充てん断熱材	人造鉱物繊維断熱材 (1)～(4)のうち、いずれか一仕様とする (1) グラスウール断熱材 ・規格 JIS A 9521 ・厚さ 100以上 ・密度 16kg/m ³ 以上 (2) グラスウール保温材 ・規格 JIS A 9504 ・厚さ 100以上 ・密度 16kg/m ³ 以上 (3) ロックウール断熱材 ・規格 JIS A 9521 ・厚さ 100以上 ・密度 16kg/m ³ 以上 (4) ロックウール保温材 ・規格 JIS A 9504 ・厚さ 100以上 ・密度 16kg/m ³ 以上
8 内装材	強化せっこうボード ・規格 JIS A 6901[GB-F(V)] ・厚さ 15以上 ・端部形状 1)～3)のうち、いずれか一仕様とする 1) スクエア 2) ベベル 3) テーパー
9 柱側面被覆材	1)～3)のうち、いずれか一仕様とする 1) せっこうボード ・規格 JIS A 6901 ・厚さ 9.5以上 2) 強化せっこうボード ・規格 JIS A 6901 ・厚さ 12.5以上 3) 両面ボード用原紙張/せっこう板 (国土交通大臣認定：NM-4127) ・厚さ 9.5以上

2) 副構成材料

(寸法単位：mm)

項 目	仕 様
①防湿紙	(1)～(12)のうち、いずれか一仕様とする (1)なし (2)透湿防水シート ・材質 1)～3)のうち、いずれか一仕様とする 1)ポリエチレン系樹脂 2)ポリプロピレン系樹脂 3)ポリエステル系樹脂 (3)プラスチックシート ・材質 1)～7)のうち、いずれか一仕様とする 1)飽和ポリエステル系樹脂 2)ポリプロピレン系樹脂 3)ポリエステル系樹脂 4)ポリ塩化ビニル系樹脂 5)ABS系樹脂 6)ポリエチレン系樹脂 7)ポリスチレン系樹脂 (4)防水通気シート ・材質 1)～7)のうち、いずれか一仕様とする 1)飽和ポリエステル系樹脂 2)ポリプロピレン系樹脂 3)ポリエステル系樹脂 4)ポリ塩化ビニル系樹脂 5)ABS系樹脂 6)ポリエチレン系樹脂 7)ポリスチレン系樹脂 (5)オレフィン系シート (6)住宅用プラスチック系防湿フィルム ・規格 JIS A 6930 (7)包装用ポリエチレンフィルム ・規格 JIS Z 1702 (8)農業用ポリエチレンフィルム ・規格 JIS K 6781 (9)上記(2)～(8)に高分子吸収体(吸水ポリマー、メチルセルロース)を組合せたもの (10)上記(2)～(9)の組合せ (11)上記(2)～(10)にアルミ蒸着したもの (12)上記(2)～(10)にアルミ箔を貼合せたもの ・厚さ 0.2以下
②防水紙	①防湿紙の(1)～(12)のうち、いずれか一仕様とする ・厚さ 0.3以下

(寸法単位：mm)

項 目	仕 様
③シーリング材	(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1)なし (2)あり ・材質 1)～12)のうち、いずれか一仕様とする 1)変成シリコーン系 2)シリコーン系 3)アクリル系 4)アクリルウレタン系 5)ポリウレタン系 6)ポリサルファイド系 7)変成ポリサルファイド系 8)エポキシ系 9)ブチルゴム系 10)スチレンブタジエンゴム系 11)油性コーキング材 ・規格 JIS A 5751 12)シリコーン系マスチック ・使用量 1g/m以上
④ バックアップ材	(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1)なし (2)あり (水密材Bおよび水密材Cがない場合のみ) ・材質 1)～8)のうち、いずれか一仕様とする 1)ポリプロピレン系 2)合成ゴム系 3)軟質塩化ビニル系 4)ポリウレタン系 5)アクリルウレタン系 6)ポリサルファイド系 7)変成シリコーン系 8)ポリエチレン系 ・使用量 0.1g/m以上

(寸法単位：mm)

項 目	仕 様
⑤役物	<p>[1]中間水切り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)～6)のうち、いずれか一仕様とする <ol style="list-style-type: none"> 1)塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3322 2)塗装/亜鉛めっき鋼板(国土交通大臣認定：NM-8697) 3)塗装溶融亜鉛めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3312 4)塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3318 5)ポリ塩化ビニル被覆金属板(鋼板に限る) <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS K 6744 6)ポリエチレン被覆溶融亜鉛めっき鋼板 ・厚さ 0.35以上 ・表裏面塗装 1)～10)のうち、いずれか一仕様とする <ol style="list-style-type: none"> 1)なし 2)フッ素系樹脂 3)アクリル系樹脂 4)アクリルウレタン系樹脂 5)ウレタン系樹脂 6)アクリルシリコン系樹脂 7)無機質系 8)エポキシ系樹脂 9)ポリエステル系樹脂 10)上記2)～9)の組合せ ・塗布量 60g/m²以下(表裏面合計有機質量)

(寸法単位：mm)

項 目	仕 様
⑤役物 (つづき)	<p>[2]端面カバー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)～6)のうち、いずれか一仕様とする <ol style="list-style-type: none"> 1) 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3322 2) 塗装/亜鉛めっき鋼板(国土交通大臣認定：NM-8697) 3) 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3312 4) 塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS G 3318 5) ポリ塩化ビニル被覆金属板(鋼板に限る) <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS K 6744 6) ポリエチレン被覆溶融亜鉛めっき鋼板 ・厚さ 0.35以上 ・水抜き孔 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする <ol style="list-style-type: none"> 1) なし 2) あり ・表裏面塗装 1)～10)のうち、いずれか一仕様とする <ol style="list-style-type: none"> 1) なし 2) フッ素系樹脂 3) アクリル系樹脂 4) アクリルウレタン系樹脂 5) ウレタン系樹脂 6) アクリルシリコン系樹脂 7) 無機質系 8) エポキシ系樹脂 9) ポリエステル系樹脂 10) 上記2)～9)の組合せ ・塗布量 60g/m²以下(表裏面合計有機質量)

(寸法単位：mm)

項目	仕様
⑥留付け材	<p>[1]-1外装材固定用</p> <p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)くぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1)ステンレス 2)鉄 ・寸法 $\phi 2.3$以上×L38以上 ・間隔 外装材の幅による(水平方向) 500以下(垂直方向) <p>(2)ねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1)ステンレス 2)鉄 ・寸法 $\phi 2.3$以上×L38以上 ・間隔 外装材の幅による(水平方向) 500以下(垂直方向) <p>[1]-2外装材補強固定用</p> <p>(1)~(3)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)なし</p> <p>(2)ねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1)ステンレス 2)鉄 ・寸法 $\phi 3.5$以上×L25以上 ・間隔 440以下(水平方向) 2000以下(垂直方向) <p>(3)くぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1)ステンレス 2)鉄 ・寸法 $\phi 1.6$以上×L19以上 ・間隔 440以下(水平方向) 2000以下(垂直方向) <p>[2]胴縁固定用</p> <p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)くぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1)ステンレス 2)鉄 ・寸法 $\phi 2.75$以上×L50以上 ・間隔 500以下 <p>(2)ねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1)ステンレス 2)鉄 ・寸法 $\phi 2.75$以上×L50以上 ・間隔 500以下

(寸法単位 : mm)

項 目	仕 様
⑥留付け材 (つづき)	<p>[3]構造用面材固定用</p> <p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)くぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする 1)ステンレス 2)鉄 ・寸法 $\phi 2.1$以上\timesL38以上 ・間隔 500以下 <p>(2)ねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする 1)ステンレス 2)鉄 ・寸法 $\phi 2.1$以上\timesL38以上 ・間隔 500以下 <p>[4]役物固定用</p> <p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)くぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする 1)ステンレス 2)鉄 ・寸法 $\phi 2.3$以上\timesL38以上 ・間隔 3000以下 <p>(2)ねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする 1)ステンレス 2)鉄 ・寸法 $\phi 2.3$以上\timesL38以上 ・間隔 3000以下

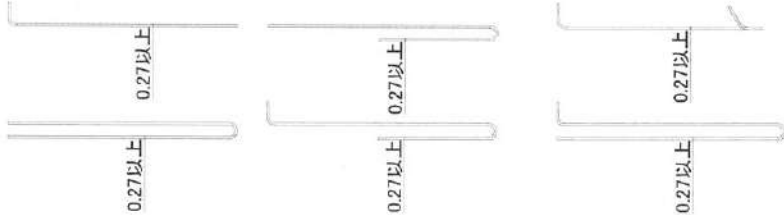
(寸法単位 : mm)

項 目	仕 様
⑥留付け材 (つづき)	<p>[5]内装材固定用 ねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする <ol style="list-style-type: none"> 1)ステンレス 2)鉄 ・寸法 $\phi 3.8$以上×L32以上 ・間隔 150以下(周辺部) 200以下(中央部) <p>[6]防湿紙固定用 ステーブル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする <ol style="list-style-type: none"> 1)ステンレス 2)鉄 ・寸法 幅10以上×長さ6以上 ・間隔 3000以下(水平方向) 1000以下(垂直方向) <p>[7]防水紙固定用 ステーブル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする <ol style="list-style-type: none"> 1)ステンレス 2)鉄 ・寸法 幅10以上×長さ6以上 ・間隔 3000以下(水平方向) 1000以下(垂直方向) <p>[8]充てん断熱材固定用 ステーブル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする <ol style="list-style-type: none"> 1)ステンレス 2)鉄 ・寸法 幅10以上、足長6以上 ・間隔 300以下(両端部) <p>[9]受け材固定用</p> <p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)くぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする <ol style="list-style-type: none"> 1)ステンレス 2)鉄 ・寸法 $\phi 2.75$以上×L50以上 ・留付位置 受け材両端部 <p>(2)ねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする <ol style="list-style-type: none"> 1)ステンレス 2)鉄 ・寸法 $\phi 2.75$以上×L50以上 ・留付位置 受け材両端部

(寸法単位：mm)

項目	仕様
⑥留付け材 (つづき)	<p>[10]柱側面被覆材固定用</p> <p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)くぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする <ol style="list-style-type: none"> 1)ステンレス 2)鉄 ・寸法 $\phi 2.1$以上×L38以上 <p>(2)ねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする <ol style="list-style-type: none"> 1)ステンレス 2)鉄 ・寸法 $\phi 2.1$以上×L38以上 <p>・留付位置</p> <ol style="list-style-type: none"> 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする <ol style="list-style-type: none"> 1)中央部 (幅方向) 2)両端部 (幅方向) <p>・間隔 1000以下</p>
⑦内装材目地処理材	<p>(1)せっこう系パテ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・塗布量 30g/m以上 <p>(2)ジョイントテープ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする <ol style="list-style-type: none"> 1)ガラス繊維 2)ステンレス帯板とガラス繊維の組合せ ・断面寸法 幅50以上×厚さ0.2以上

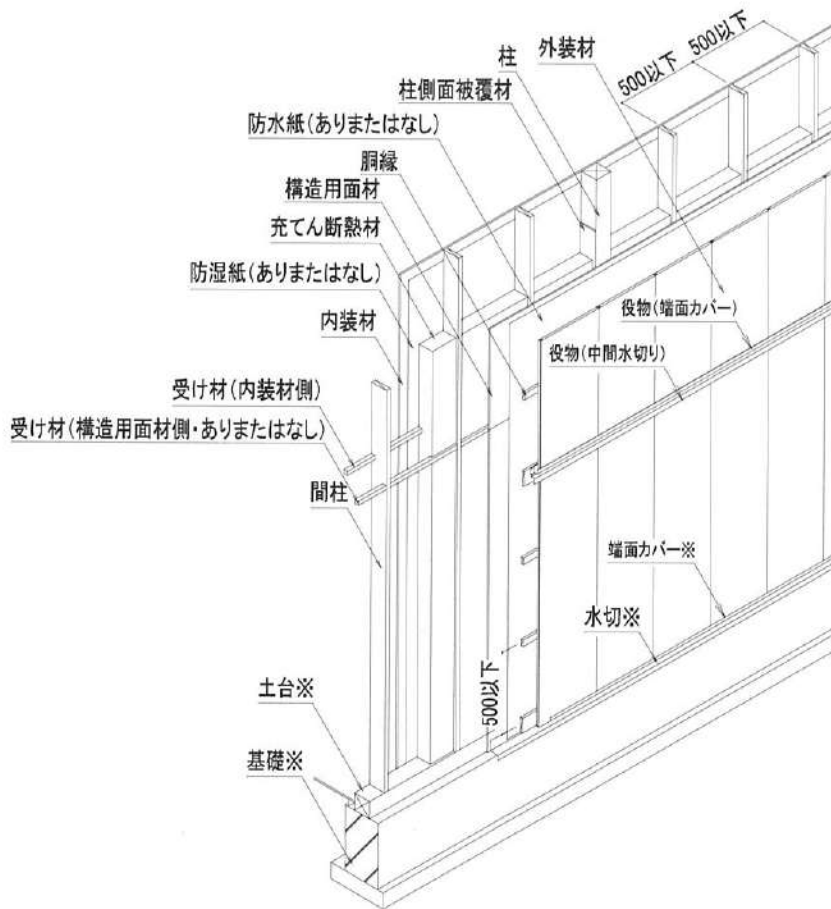
(寸法単位：mm)

項目	仕様
<p>⑧ 外装材補強固定用留 付け材防水材</p>	<p>(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする (1)なし (2)水密材 ・材質 1)～10)のうち、いずれか一仕様とする 1)ポリプロピレン系 2)合成ゴム系 3)塩化ビニル系 4)ポリウレタン系 5)アクリルウレタン系 6)ポリサルファイド系 7)シリコン系 8)ポリエチレン系 9)オレフィン系 10)1)～9)の組合せ (3)シーリング材 ・材質 1)～12)のうち、いずれか一仕様とする 1)変成シリコーン系 2)シリコーン系 3)アクリル系 4)アクリルウレタン系 5)ポリウレタン系 6)ポリサルファイド系 7)変成ポリサルファイド系 8)エポキシ系 9)ブチルゴム系 10)スチレンブタジエンゴム系 11)油性コーキング材 ・規格 JIS A 5751 12)シリコーン系マスチック ・(2)と(3)の使用量 15g/m²以下(⑤外装材[3]表裏面合計有機質量との合計有機質量60g/m²以下とする)</p>
<p>⑨補強金物</p>	<p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1)なし (2)あり ・材質 ⑤外装材[1]-1と同じ ・厚さ 0.27以上 ・間隔 外装材の幅による(水平方向) ・形状 下図参照(代表例)</p> 

4. 構造説明図

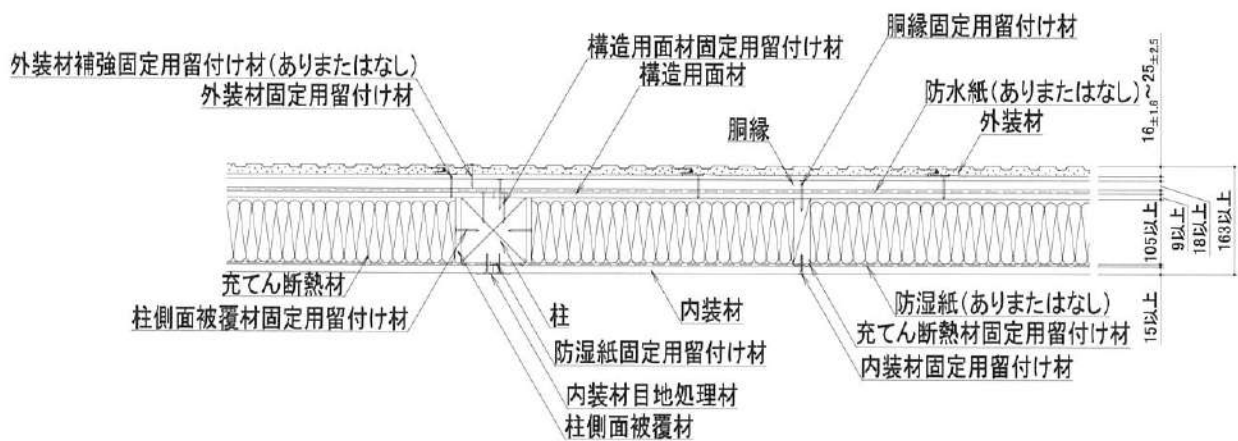
斜視図

(寸法単位：mm)



水平断面図

(屋外側)

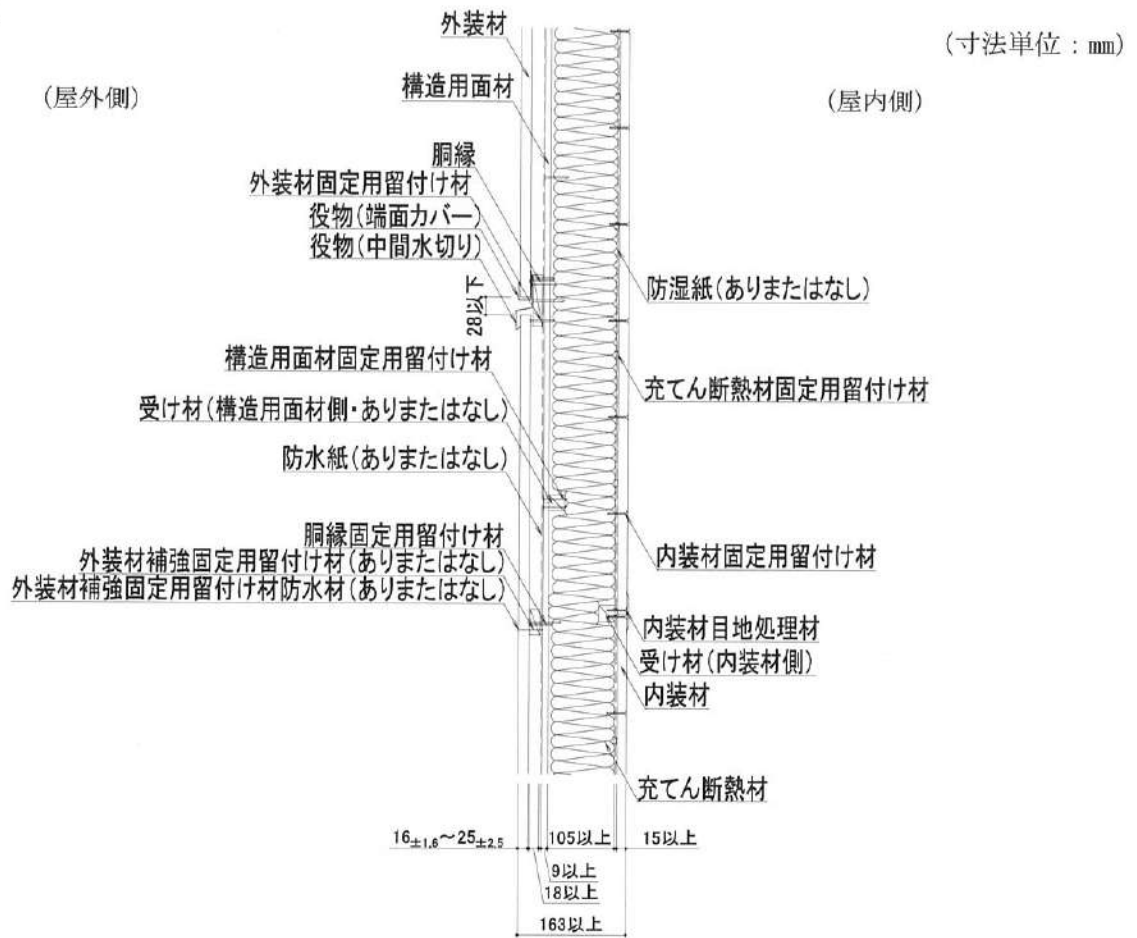


(屋内側)

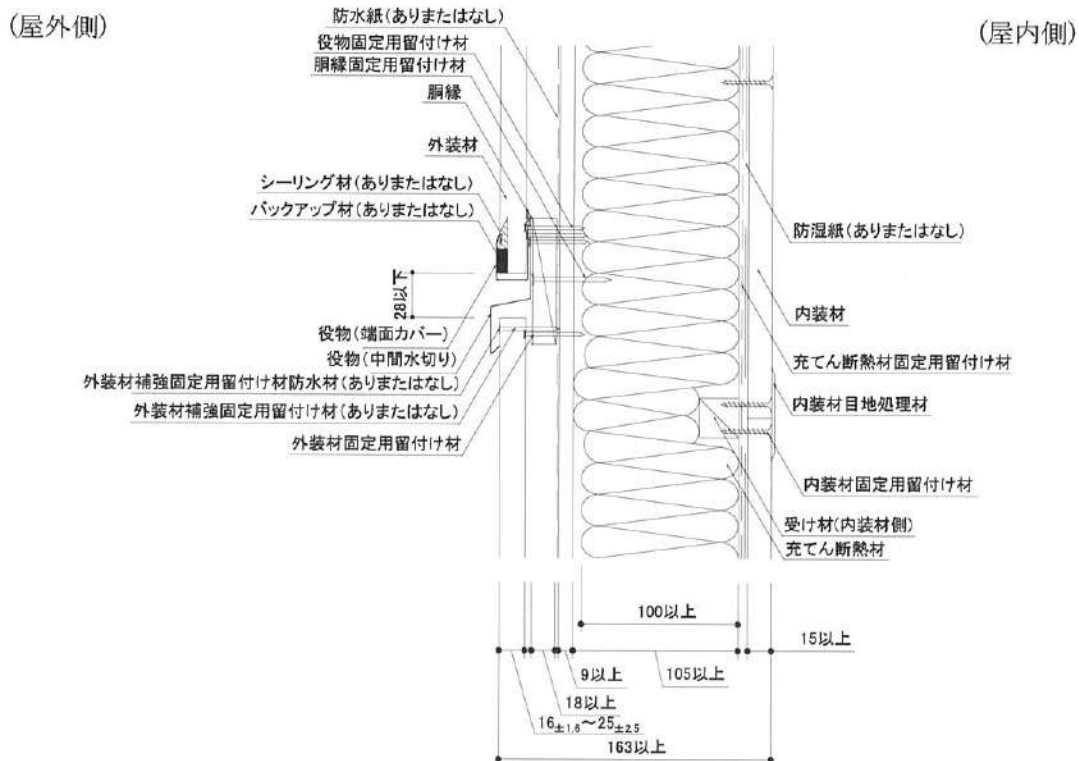
注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

※：本評価内容に含まない

鉛直断面図



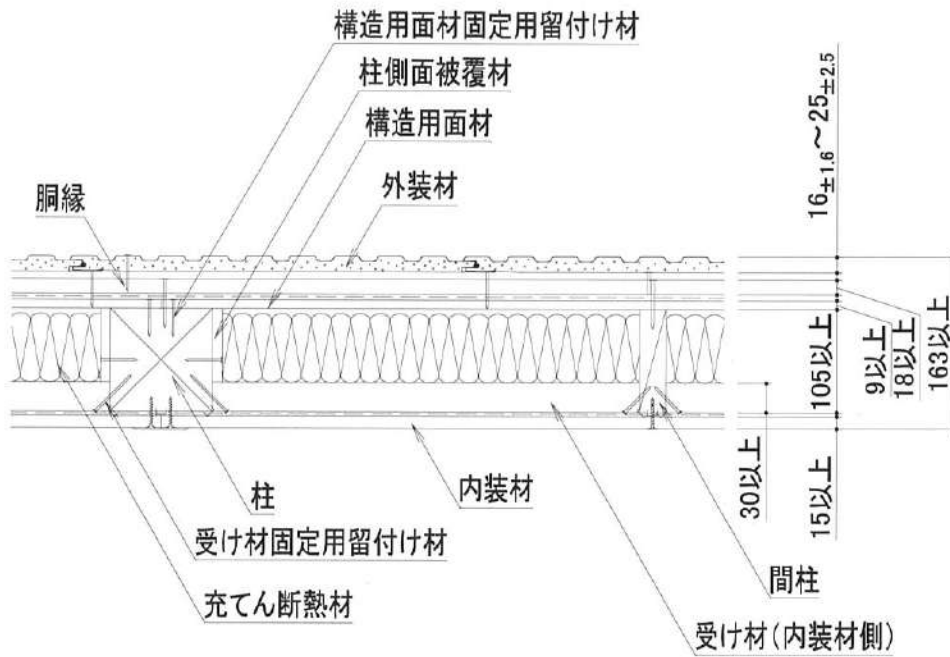
目地部詳細図(横張の場合・役物：水密材Bあり仕様)



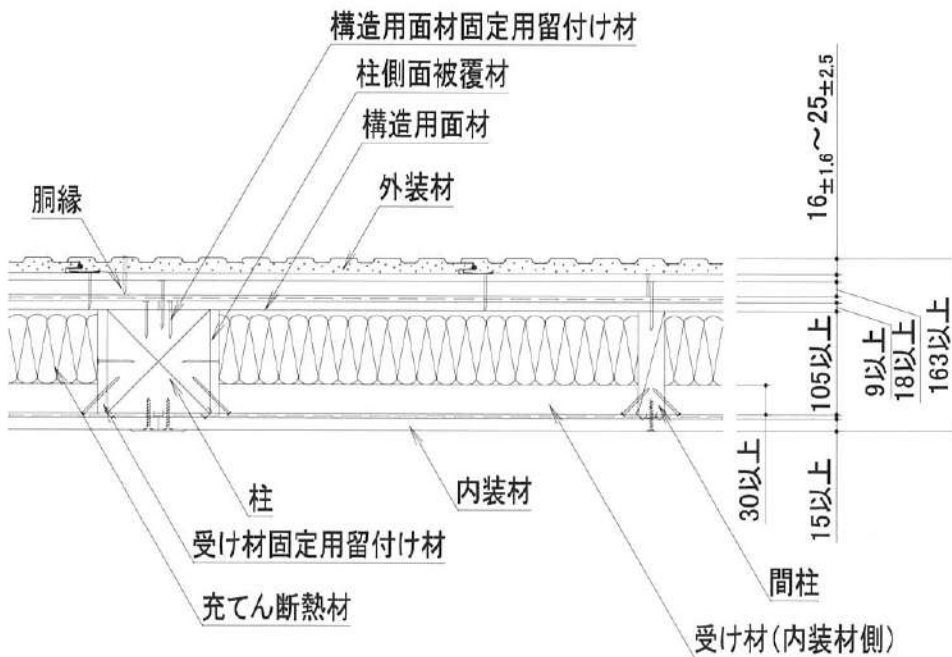
注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

柱側面被覆材取付位置 (受け材勝ちの場合)

(寸法単位：mm)



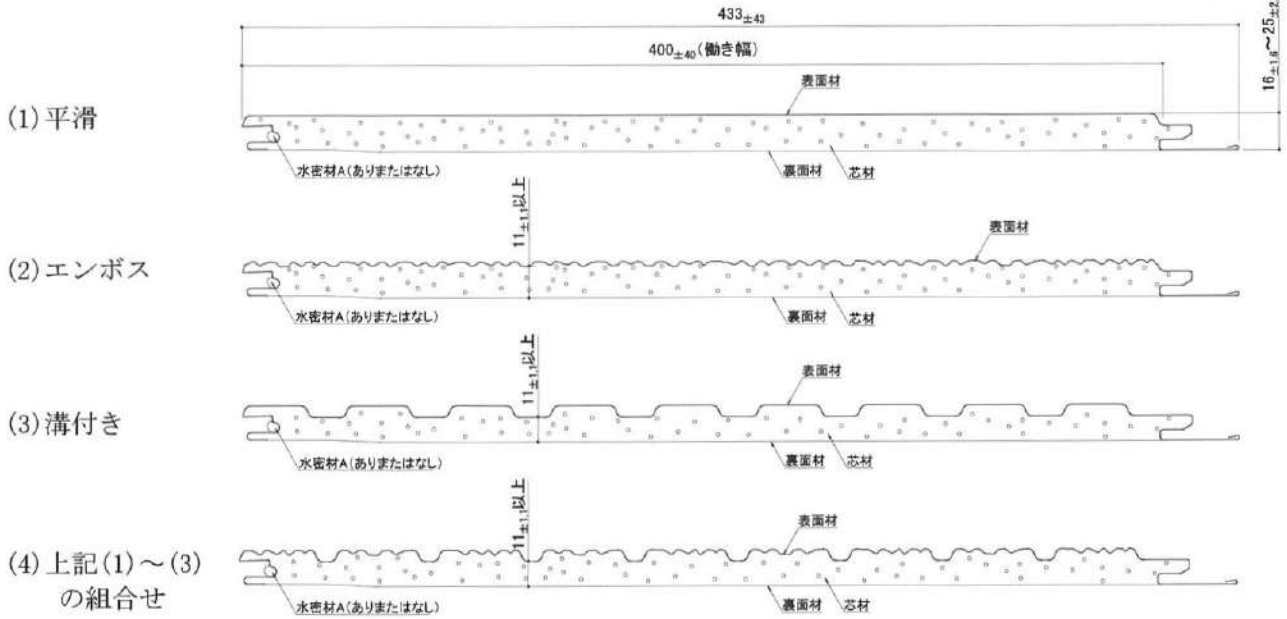
柱側面被覆材取付位置 (柱側面被覆材勝ちの場合)



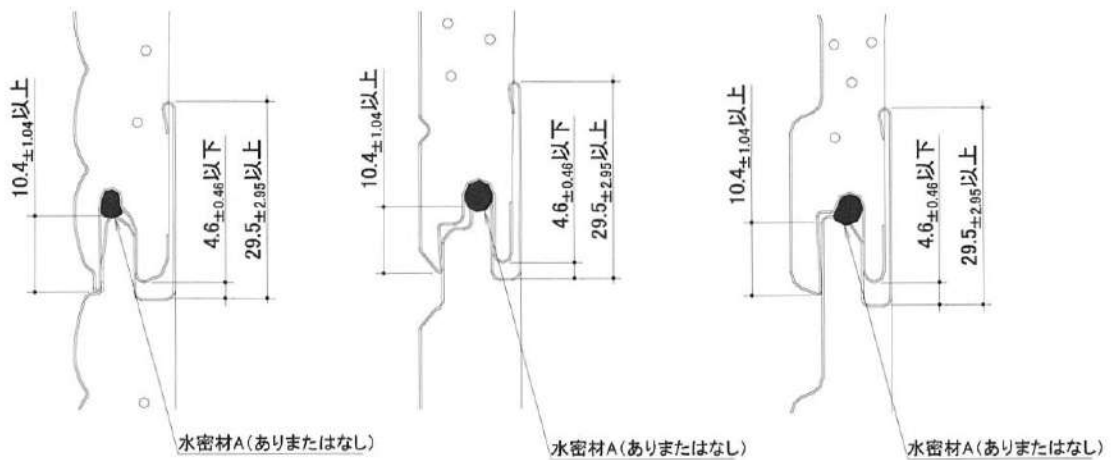
注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

外装材形状 (断面) の代表例

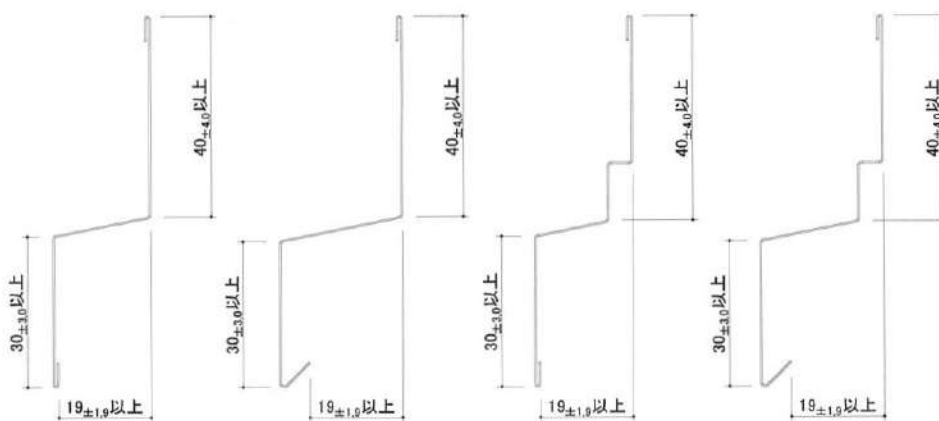
(寸法単位: mm)



外装材形状 (接合部) の代表例



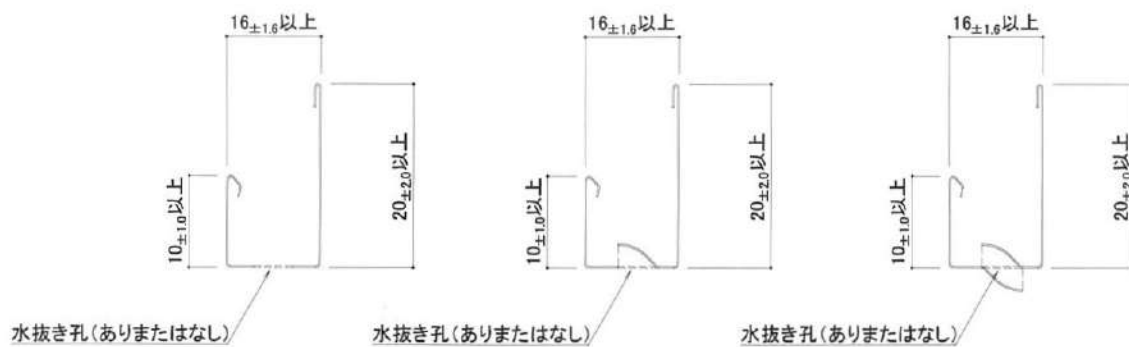
外装材接合部材の代表例 (中間水切り) の代表例



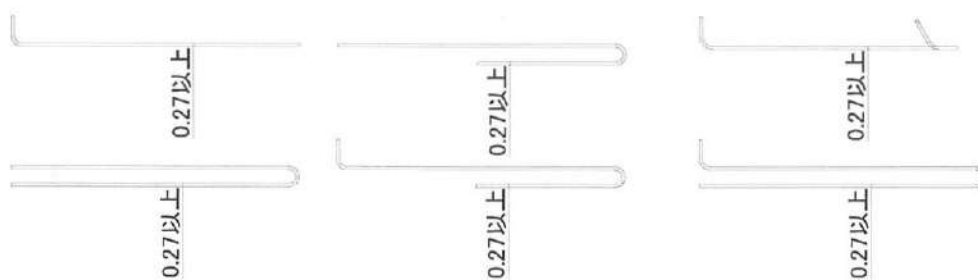
注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

外装材接合部材の代表例（端面カバー）の代表例

(寸法単位：mm)



補強金物の代表例



注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

5. 施工方法等

<施工図>

4. 構造説明図と同じ

<施工手順>

(1) 下地

荷重支持部材、間柱は反り、曲り等ないものを使用し、500mm以下の間隔で施工する。
内装材横目地位置に受け材を取付ける。構造用面材横目地位置には必要に応じて受け材を取付ける。

さらに構造用面材を、荷重支持部材、間柱、受け材に500mm以下の間隔でくぎまたはねじで不陸のないように施工する。

受け材(内装材側)は内装材に横目地が生じる場合のみ取付ける。

受け材はくぎまたはねじで柱、間柱の側面に留め付ける。

柱の側面には柱側面被覆材を取付ける。

(2) 充てん断熱材の取付け

荷重支持部材及び間柱の間に充てん断熱材を入れ、ステーブルを用いて取付ける。

(3) 水切、スターター(端面カバー)の取付け(評価対象外)

土台に水切、端面カバーを水準器を用いて水平に取付ける。

(4) 防水紙の取付け

防水紙を取付ける場合は、ステーブル、プチル系粘着テープ又はアクリル系粘着テープを用いて留付ける。

(5) 胴縁の取付け

荷重支持部材又は間柱に対して、横方向に配置し、500mm以下の間隔で不陸のないように平滑に荷重支持部材、間柱にくぎまたはねじで留付ける。

(6) 役物(中間水切り、端面カバー)の取付け

外装材横目地部に中間水切りおよび端面カバーを3000mm以下の間隔でくぎまたはねじで留付ける。

(7) 外装材の取付け

端面カバーに外装材を差込み、外装材の側面に水平方向は外装材の働き幅間隔以下、垂直方向は500mm以下の間隔でくぎまたはねじで留付ける。

2段目以降は外装材の凹部を外装材の凸部に差込み、施工していく。

(8) 防湿紙の取付け

防湿紙を取付ける場合は、ステーブルを用いて留付ける。

(9) 内装材の取付け

内装材はねじを用いて荷重支持部材、間柱、受け材に留付ける。

目地部にはジョイントテープを用い、せっこうパテを塗布する。